

「第4次京都市子ども読書活動推進計画」(案)に関する 市民の皆様の主な御意見

- 1 募集期間 平成30年12月27日～平成31年2月3日
- 2 配布先 各区役所・支所, 京都市図書館, 各学校・園 等 HPでも公開
- 3 募集方法 郵送, FAX, 電子メールにて受付
- 4 応募件数 258件
- 5 意見件数 417件
- 6 主な市民意見

(1)「1 家庭における子どもの読書活動の推進」(意見数: 52件)

- ・保護者への啓発(26件)
- ・子どもが本に接する機会の充実(14件)

(2)「2 地域における子どもの読書活動の推進」(意見数: 87件)

- ・子どもの読書活動を推進する取組(27件)
- ・子どもをとりまく読書環境の充実(21件)

(3)「3 学校及び幼稚園・保育所等における子どもの読書活動の推進」(意見数: 68件)

- ・読書の習慣化(18件)
- ・「読書ノート」の取組(15件)

(4)「4 学校図書館の整備・充実」(意見数: 46件)

- ・学校図書館の蔵書の充実(16件)
- ・学校図書館の環境整備(4件)

(5)「5 京都市図書館の整備・充実」(意見数: 126件)

- ・図書館の設置場所(20件)
- ・京都市図書館の蔵書の充実(16件)

(6)「6 関係機関の連携・推進体制の整備・充実」(意見数: 2件)

- ・関係機関との連携(2件)

(7)「7 家庭読書を推進するための啓発・広報」(意見数: 19件)

(8)「8 優れた取組の奨励」(意見数: 1件)

- ・表彰のあり方(1件)

(9)「9 その他」(意見数: 16件)

- ・計画全般への意見(9件)

7 主な市民意見と本市の考え方

(1) 「1 家庭における子どもの読書活動の推進」

主な御意見	件数	本市の考え方
<p>(保護者への啓発)</p> <p>○どの年齢で「どの本を読んでやればいいのか分からない」保護者も多いので、保護者向けに、読み聞かせにおすすめの本に関する情報を分かりやすく発信してほしい。</p> <p>○子どもが大きくなっても本を読む習慣を続けるためには、親が本を読む姿が日常にあることが必要だと思う。</p> <p style="text-align: right;">他</p>	26	<p>子どもたちの読書習慣の形成には、最も身近な存在である保護者の役割が大変重要です。今回のアンケート調査では、保護者が子どもにはじめて本を読んであげた時期が早まっている傾向はあるものの、子どもの読書に関心のない保護者もまだみられます。子どもたちと大人と一緒に読書を楽しみ、また本を話題にしたコミュニケーション等を通して、家族の絆を深めることができるよう、妊娠期を含めたより早い時期からの読み聞かせの重要性を知らせる取組の実施や、母親と父親がともに子どもの読書活動に参加することができる取組など、様々な機会や行事等を通じて読書の大切さを伝える啓発の充実を進めてまいります。</p>
<p>(子どもが本に接する機会の充実)</p> <p>○スマートフォンやゲームに要する時間は増えていても、読書に要する時間や図書館利用は減っていると思う。</p> <p>○子どもたちが本に接する機会を増やすことが重要だと思う。</p> <p>○子どもが自発的に読書するような取組を実施してほしい。</p> <p style="text-align: right;">他</p>	14	<p>8か月児健康診査において絵本等を贈呈する「京都版ブックスタート事業」をはじめ、図書館等における読み聞かせのイベントや学校での朝読書の取組など、子どもたちが本と接する機会の創出に向けた取組を進めてまいりました。今後とも年代別ブックリスト「本のもり」の周知など本を読むきっかけづくりにつながる取組をはじめ、子どもたちが本にたくさんふれることを通して読書の楽しさを実感し、自ら本を手にとることができるよう、本との出会いの機会の充実を図ってまいります。</p>
<p>(妊娠期の保護者に対する取組について)</p> <p>○妊娠期を含めた保護者に読み聞かせ重要性を伝えることが重要だと思</p>	5	<p>本市では、乳児健康診査（8か月児）を受診した乳児及びその保護者に対して、健診の待合時間などを利用し、絵本ふれあいボランティアが絵本の読み聞</p>

<p>う。</p> <p>○母子手帳を渡す際に絵本に関するリーフレット等の配布や、母親教室の際に絵本の話を入れるなど、妊娠期の保護者へのアプローチを行ってほしい。</p>		<p>かせを実施するとともに、おすすめの絵本等を紹介した小冊子「ねえ、よんで」を配布し、読み聞かせの重要性について理解を深める取組を行っています。</p> <p>また、妊娠期においては、母子健康手帳交付時に、絵本の読み聞かせの効果や重要性について掲載した母子健康手帳副読本「赤ちゃんといっしょ」を配布し、普及啓発に努めています。</p>
<p>(ブックスタート事業について)</p> <p>○ブックスタートは良い取り組みだと思う。</p> <p>○ブックスタートのエコバッグがかわいくて重宝している。</p>	3	<p>貴重な御意見をありがとうございます。今後も市民の方に喜んでいただけるよう、取組を推進してまいります。</p>
<p>(絵本ふれあいボランティアについて)</p> <p>○絵本ふれあいボランティア(ブックスタートのボランティア)の研修を実施してほしい。</p>	2	<p>本市では、絵本ふれあいボランティアの養成講座を修了された方に対し、毎年、フォローアップ研修会を開催し、スキルアップにつなげています。</p> <p>内容については、絵本の読み聞かせに関することから乳幼児の発達に関する事など、様々な知識を身に付け、子どもやその保護者と関わられるよう努めています。</p>
<p>(乳幼児保護者用読書ノートについて)</p> <p>○小・中学校に配布されている読書ノートは活用しやすく、オリエンテーションにも効果があるが、乳幼児保護者用読書ノートは使用する機会があるか疑問だと思う。</p> <p>○多くの保護者は乳幼児用読書ノートに何を書けばいいかわからず、感想を書くのが大変と感じていると思う。</p>	2	<p>読書習慣の定着には乳幼児の頃から本に親しんでもらうことが大切であると考えており、子どもの成長とともに、その時々のお気に入りの本やその時の様子など、読書の記録を通して子どもの成長を記していただけるよう「乳幼児保護者用読書ノート」を8か月児健康診査の際に配布しております。</p> <p>まずは読み聞かせした本のタイトルの記入だけでも結構ですので、気軽に御活用いただけましたら幸いです。</p>
<p>家庭における子どもの読書活動の推進に係る意見</p>	<p>52</p>	<p>全意見(417件)の約12%</p>

(2) 「2 地域における子どもの読書活動の推進」

主な御意見	件数	本市の考え方
<p>(子どもの読書活動を推進する取組について)</p> <p>○図書館を利用する市民に対して「読書に関するアンケート」を実施して市民の読書への関心を高めるようにすれば良いと思う。</p> <p>○比較的時間の余裕が生じやすい夏休み等の長期休暇に、ゆとりの時間の創出と読書習慣のきっかけづくりの場として、市役所、区役所・支所等に臨時の図書コーナー(出張図書館)を設置するなどの取組があればよいと思う。</p> <p>○読書を進めるためにも、中学生への図書館見学をもっと実施してほしい。</p> <p>○ティーンズコーナーがあるのは良いと思う。</p> <p>○京都文学賞の受賞作品を図書館等で紹介していただき、京都を題材とした「本」に関心をよせてもらえる機会をつくり、読書に注目を集め、読書の楽しさや重要性を伝えることにつなげていただきたい。</p> <p style="text-align: right;">他</p>	<p>27</p>	<p>京都市図書館では、子ども達が本に触れる機会の創出のため、絵本の読み聞かせやお楽しみ会の実施、「京都版ブックスタート事業」コーナーの設置や中高生の興味を引き出す本を集めたティーンズコーナーの設置などの取組を進めて参りました。</p> <p>厳しい財政状況の中、多額の費用を要する取組や、各図書館の職員体制以上のスタッフを要する取組の実施は困難ですが、今回皆様からいただいた御意見やイベント実施の際に実施するアンケート結果等を参考とさせていただきながら、今後も子ども達に読書の楽しさや素晴らしさを伝える取組を企画し、子ども達の読書活動の推進に取り組んで参ります。</p>
<p>(子どもをとりまく読書環境の充実)</p> <p>○いつでも手の届く所に本があること、大人も子どもと情報交換ができるような本に親しめる環境がほしい。</p> <p>○本が当たり前のように身近にある環境づくりに寄与することで、子どもの読書活動が推進されるのではないかと思う。</p> <p style="text-align: right;">他</p>	<p>21</p>	<p>子どもがより多くの本と親しむためには、身近で気軽に本を楽しむことができる環境を整えていくことが重要となります。図書館はもとより、子ども文庫や読み聞かせボランティアなど、地域ではたくさんの機関・団体等が子どもと本をつなぐための取組を展開していますが、今後とも互いに連携を図りながら、子どもたちがより読書を身近に感じ、親しむことができるよう、ハード面での整備や子どもの読書活動を支える担い手</p>

		の育成など子どもをとりまく読書環境の整備を進めてまいります。
<p>(読書への関心を高める取組)</p> <p>○中高生が、「読書してるってかっこいい」と思える取組に期待している。</p> <p>○4月23日の子ども読書の日を周知してほしい。</p> <p>○警察官，消防士，看護師など様々な職種の方に読聞かせをしてほしい。</p> <p style="text-align: right;">他</p>	12	<p>アンケート調査では，小・中・高校生ともに読書が「好き」「少し好き」と答えた児童・生徒が高い割合を示すなど読書に好意的な子どもたちが多いものの，実際にはなかなか本を手にする機会にむすびつかない実態も見られます。「子ども読書の日」や「読書週間」を中心とした啓発やイベントの実施はもとより，様々な機会をとらえて読書の大切さ・楽しさを伝える取組を進めてまいります。また，様々な団体等とも連携して子どもたちが読書への関心を高めることができるよう，読書することが「かっこいい」といった，読書へのイメージや親しみやすさの向上につながるような啓発・情報提供を図ってまいります。</p>
<p>(移動図書館について)</p> <p>○移動図書館の活用を増やしてほしい。</p>	4	<p>公共図書館へのアクセスが難しい地域の方々に図書館サービスを利用いただくため，現在，山間部をはじめとした41箇所を移動図書館で巡回し，本の貸出等を行っています。</p> <p>現状の巡回地と公共図書館の各館設置により，図書館サービスの地域的な均衡が図られていると考えており，厳しい財政状況の中，巡回箇所数を増やすことは困難であり，御理解のほどお願いいたします。</p>
<p>(学校訪問による図書館カードの作成について)</p> <p>○図書館の職員が学校訪問し，小学生以上は図書館カードを作成する取組を実施してほしい。</p>	4	<p>全ての小学校，中学校，高校となると，大変に多く，図書館職員が訪問して図書館カードを作成することは困難ですが，学校との連携の下，今後も，一人でも多くの児童・生徒に図書館に来館いただけるよう，あらゆる機会を通じて図書館利用を促進する取組を積極的に進めて参ります。</p>
<p>(学校団体貸出について)</p>	3	<p>公共図書館と学校の連携は一層力を</p>

<p>○団体貸出について、本の種類によっては冊数が制限されており、授業に合わせた柔軟な対応をしてほしい。 また本を借りる際の運搬を図書館が担う方向で検討してほしい。</p> <p>○学校と市図書館をメール便で本の貸し借りができるようにしてほしい。</p> <p>○団体貸出における司書のレファレンスサービスの資質向上をしてほしい。</p>		<p>入れていくべき事業であると考えており、今後もますます図書館資料を学校で御活用いただきたいと考えておりますが、一方で図書館資料は広く市民の皆様に御利用いただくための資料でもあることから、利用に当たって一定の制約を設けさせていただくことがございます。また、メール便により、図書館・学校間の資料の運搬を実施した場合、配送箇所及び量ともにかなり多くなることが予想されるため、対応は困難です。</p> <p>資料貸出の際の制約や最寄りの図書館での受取に御理解と御協力のほど何卒よろしく願いいたします。</p> <p>また、司書の資質向上については、研修等に力を入れ、引続き取り組んで参ります。</p>
<p>(図書館資料の学校や児童館での貸出について)</p> <p>○市内の小学校のパソコンから図書館の本を注文し、小学校に届けてもらえるようにしてほしい。</p> <p>○児童館の図書室も市立図書館と連携して本の貸し出しをできるようにしてほしい。</p>	2	<p>図書館資料の管理や個人情報の保護、ネットワーク構築及び資料運搬に係る費用の関係から、京都市図書館資料を学校や児童館で個人貸出を行うことは困難です。</p> <p>御自宅のパソコンや携帯を操作し本の予約・取寄せをして、最寄りの京都市図書館で受け取ることが可能となっておりますので、最寄りの図書館での資料の受け取りに御理解と御協力をよろしく願いいたします。</p>
<p>(児童館の図書室について)</p> <p>○児童館でも、本の貸出をされている所としていない所があり、一貫してほしい。</p> <p>○図書館と児童館が合体してはどうかと思う。</p>	2	<p>京都市では、130館の児童館において、0歳から18歳までの児童の健全育成を図ることを目的として、遊びの提供や子育て相談を実施しているほか、放課後の子どもたちの居場所として学童クラブ事業も実施しております。</p> <p>各児童館の活動では、子どもたちが本に親しみ、読書を通じて豊かな心をはぐくむ取り組みなども行っているところです。</p>

		<p>「図書館と児童館が合体してはどうか」との御意見をいただいておりますが、図書館と児童館とでは対象者や利用形態が異なることから、合体することが困難であることを御理解いただきますようお願いいたします。</p> <p>児童館の図書室の本の貸出については、施設利用者のために取り扱っている書籍の分類や所蔵数は各館で異なっており、各児童館の利用状況も様々であることから、本の貸し出しについては、館独自で提供しているサービスになりますので、御理解いただきますようお願いいたします。</p>
<p>(不用図書館資料の譲渡について)</p> <p>○公共図書館から本の寄付をしてもらいたい。</p> <p>○児童書のリサイクルは中央図書館だけでなく、伏見中央図書館でも実施してほしい。</p>	2	<p>不用となった図書館資料について有効活用を図るため、市民の読書活動に資することを目的として、毎年6月・10月・1月の15日～22日(休館日を除く)の年3回、伏見中央図書館を含め、全京都市図書館でブックリサイクルを実施しております。</p> <p>また公益を目的とする団体が図書館と同種の目的に使用する場合にも希望により不用図書の譲渡を行っており、学校や福祉関係施設等に御活用いただいている事例もございます。</p> <p>今後もこれらの取組について周知に努めて参ります。</p>
<p>(不用本の引き取りについて)</p> <p>○同じ絵本がたくさんあり、処分に困っているため、リサイクルを強化してほしい。本を集めていただける場所、引き取っていただける場所を提供してほしい。</p>	2	<p>京都市図書館では例年春に「子ども読書の日記念事業」の一環として「子どもの本のブックリサイクル」を実施しておりますが、この取組に向け例年1～2月頃、市民の皆様にご提供できる絵本を募集しています。募集の案内は京都市図書館のホームページ等を通じて実施しております。</p> <p>また、こどもみらい館子育て図書館でも、例年12月に開催している「みらい</p>

		っこまつり」で配布するリサイクル絵本について年間を通じて募集しております。
<p>(図書館でのイベントの開催について)</p> <p>○図書館でのイベントを開催してほしい。</p> <p>○保護者が本に興味を持てるイベントを開催してほしい。</p>	2	<p>京都市図書館では毎月乳幼児や児童を対象とした読み聞かせ等の定例行事を行っています。その他にも「子ども読書の日」記念事業や読書週間記念事業等の特別事業を実施し、保護者への読書啓発の一環として、児童文学作家の講演会等も開催しております。</p> <p>京都市図書館ホームページや各館のポスター・チラシ等で告知しておりますので、是非御参加ください。</p> <p>今後も皆様の意見を参考とさせていただきながら、市民の皆様の読書活動を推進する取組を実施して参ります。</p>
<p>(ビブリオバトルの観覧について)</p> <p>○子ども同士のビブリオバトルの取組は興味深い。その取組の様子と結果を保護者が知る機会がほしい。</p>	2	<p>京都市図書館が主催するビブリオバトルにつきましては、どなたでも観覧可能です。</p> <p>事前にホームページや図書館内のポスター・チラシ等で告知しておりますので、たくさんの方々の観覧をお待ちしております。</p> <p>またビブリオバトルの実施結果につきましてもホームページでお知らせしております。</p>
<p>(選書等を支援するスタッフの希望について)</p> <p>○4月や夏休みには選本や貸出を支援するスタッフがいてほしい。</p>	1	<p>調べものや選書等については常時職員が相談に応じております。</p> <p>遠慮なく図書館の司書にお声掛けください。</p>
<p>(新着本の広報について)</p> <p>○新着本の広報はどんな本が入ったか分かり興味を持つことができていると思う。</p>	1	<p>多くの方々に図書館資料を活用いただけるよう、引き続きホームページや各図書館での新着本の広報について力を入れて参ります。</p>
<p>(ブックリストの周知について)</p> <p>○ブックリストは本を選ぶときに有効なので、更なる周知をしてほしい。</p>	1	<p>京都市図書館では各種団体と連携し、子どもが本を読むきっかけや選書の手がかりとなる6種類の年代別のブックリスト「本のもり」を作成し、各図書館</p>

		<p>等で配布したり、京都市図書館ホームページで見ただけたりするようにしております。</p> <p>今後もあらゆる機会を通じて引き続き「本のもり」の更なる周知に努めて参ります。</p>
<p>(青い鳥号について)</p> <p>○青い鳥号を知らない人が多いと思う。「誰でも借りられるのか」「いつどこで返せばいいのか」「借りるのに必要なものは」を広報するべきだと思う。</p>	1	<p>「青い鳥号」は子どもの読書活動推進に活用する図書館用に改造した軽ワゴン車です。移動図書館とは別に京都市図書館の司書が学校やイベント会場に出向いてブックトークや読み聞かせを行う際に本を積んで持って行き、本の紹介や貸出等を実施しております。</p> <p>「青い鳥号」は特別なイベントの際に活用しており、定例的に実施しているサービスではありませんが、今後も「青い鳥号」を活用した取組を多くの方にも知っていただけるよう、あらゆる機会を通じてPRして参ります。</p>
<p>地域における子どもの読書活動の推進に係る意見</p>	87	<p>全意見（417件）の約20%</p>

(3) 「3 学校及び幼稚園・保育所等における子どもの読書活動の推進」

主な御意見	件数	本市の考え方
<p>(読書の習慣化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○カリキュラムの関係でなかなか時間が取れない実状があるが、短くてもよいので図書室に行く時間をつくり、本を手にとる機会を増やしてほしい。 ○学校の宿題に読書の時間を作ってほしいと思う。 ○低学年に限らず高学年，中学生への読聞かせ，読書の機会があると良いと思う。 ○学校でもっと読書の大切さを教えてほしい。 ○子どもが学校でゆっくりと図書(本)と関われる機会を取ってほしい。 ○限られた授業時間数確保のために，朝読書を取りやめていく学校があると聞いた。何とかして，朝読書の時間を確保してほしい。 ○学校で可能な限り，朝礼前に読書等，取り入れてほしい。 <p style="text-align: right;">他</p>	18	<p>朝読書をはじめ，授業や児童・生徒会活動，京都市図書館と連携した取組など，各校の実情に応じて，学校生活で子どもが本に親しむ機会を創出・工夫しています。引続き，家庭・学校等が連携し，子どもの読書習慣の確立を目指してまいります。</p>
<p>(「読書ノート」の取組について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○幼稚園での読書ノートの取組と毎週3冊の貸出しのおかげで楽しく読書できている。 ○100冊マラソンはいい取組だと思うが，子どもにはじっくり1冊1冊を選んで，その選んだ本を大切に読むようになってもらいたいと思う。 ○読書ノートを長期休暇の課題の一つに位置付け，家庭での読書の際に活用してほしい。 ○0歳児から高校生まで，年代ごとに様々な取組が行われているが，それぞれの年代で途切れてしまってい 	15	<p>家庭での読書活動に活用できる「読書ノート」を配付し，家庭において保護者が子どもと一緒に読書を楽しむきっかけ作りを進めるとともに，幼稚園，小学校，総合支援学校で読書ノートを活用した「読書マラソン」運動を進め，1年間に100冊読破した児童等に対して表彰する取組を行っています。これらの取組を通して，幅広い種類の本との出会い，本を身近に感じ，子どもたちの読書に対する興味関心を高めてまいりたいと考えています。</p>

<p>る。保育所・幼稚園等での取組を発展させた小学校での取組をさらに積み上げ中学，高校生への施策と「つなぐ明確なシステム」構築してほしい。</p> <p>○図書通帳の発行と配布をしてほしい。</p>		
<p>(学校司書について)</p> <p>○学校に学校司書が導入されたことは大変うれしいが，その実情は週1，2回であり，学校の要望からすれば意をくんでいない。特に，授業への支援，放課後の図書館開放などで必要とされることは多い。できるだけ勤務日を増やすか，図書ボランティアを募って代行できるような方法で進めてほしい。</p> <p>○学校司書の待遇を改善してほしい。</p> <p>○学校司書や図書ボランティアを学校で探せというのは難しいので，より多く広報活動をして，市民からの協力を得ることが望ましいと思う。</p>	9	<p>本市では，配置が必要な全ての小・中・総合支援学校へ学校司書を週あたり複数日配置することを目標に，教育委員会において有資格者（司書・司書教諭）や教員経験者を公募，選考の上，各校に配置しております。</p> <p>その勤務条件については，週あたりの勤務時間・日数に応じて各種休暇の付与や雇用保険，職員厚生会等への加入も行っております。</p>
<p>(学級文庫等の設置・充実)</p> <p>○学級文庫の設置・充実をしてほしい。</p> <p>○みやこ柚木で学級文庫の棚を作してほしい。</p> <p>○校内の各フロアに図書コーナーを設けて，子どもたちがいつでも書籍に手を取ることができる環境づくりをしてほしい。</p>	7	<p>各学校では，学校図書館を整備するとともに，学級文庫の設置や空きスペースへの図書の配架等，学校施設の状況に応じて，子どもが本を身近に感じられるような環境整備に取り組んでおります。</p> <p>また子どもたちが木の温もりの中でくつろいで読書を楽しめる環境づくりのため，平成25年度より，学校図書館に京都市地域産材「みやこ柚木」を使用した閲覧机や椅子，書架の整備を進めております。</p> <p>今後，学校図書館備品に限らず，学級文庫の棚等学校独自の木製備品購入時や学校統合による新設校の整備等に市内産木材の積極的な利用を促すなど，引き続き，子どもの読書活動の一層の推進</p>

		と京都市産木材の需要拡大に向けた取組を進めてまいります。
<p>(学校司書等への研修等について)</p> <p>○学校司書の研修を採用直後の早い時期に行っていただきたい。また、個々の悩みを出し合い、話合える場を提供してほしい。</p> <p>○司書教諭の資質向上も重要ではあるものの、まずは管理職の図書事業に対する意識を高めることが重要だと思う。</p> <p>○公共図書館司書と学校司書の定期的な連絡会、研修会があると良いと思う。</p> <p>○市として図書ボランティアや学校司書の資質を高めたり、連携を深めるために、研修や講座を催してほしい。</p> <p>他</p>	8	<p>学校司書の資質向上について、京都市図書館と連携し、採用前から計画的な研修や交流会等を実施しています。また、学校図書館の活用方法等を紹介するリーフレットを各校に配布するとともに、専門主事による学校訪問等を通じ、学校司書と教職員の連携をサポートするなど、学校図書館の活性化を推進しています。</p> <p>図書館ボランティアに関しては、各京都市図書館で必要に応じて研修を実施しております。また学校司書についても、担当部署が連携しながら研修の取組を進めております。</p>
<p>(共有・共感できる取組)</p> <p>○子どもたちが気軽に読書の楽しさを共感し合えるように、中高生限定の読書会を実施してはどうか。ビブリオバトルも良い取組だと思うが、同じ本を読んだ人と感想を話し合うのもとても楽しいものだし、他校の本好きな人との出会いも生まれると思う。</p> <p>○読み聞かせを大人でなく、子どもにもさせてはどうかと思う。</p> <p>○中高生には「どうすれば読書する？」となげかけることや、大人だけでなく大学生や二十歳になった人たちに「この一冊が心に残った」「この本が役に立った」等のメッセージをもらうことをすれば、自分もメッセージを送る時が来るから読書しようと思ってくれると思う。</p> <p>○ビブリオバトル以外の新しい手法を</p>	6	<p>本の紹介文やポップ等の作成のほかビブリオバトルの実施等を通して、子ども同士で本を紹介する取組を進めており、読解力・表現力・コミュニケーション力の向上のほか、子どもが楽しみながら読書の幅を広げるような取組を、今後も様々な場で展開し、本との出会いの機会の充実を図ってまいります。</p>

授業に導入したら良いと思う。 他		
<p>(授業での利用)</p> <p>○授業の一環として情報活用能力を学習できるような内容を計画に入れてほしい。</p> <p>○学校図書館を活用した学習活動を行っている公開授業を行い，教員や図書ボランティアが見学することで，研鑽につながるかと思う。</p> <p>○学習・情報センターとしての機能の向上をしてほしい。</p>	4	<p>学校図書館は自発的・主体的な学習活動を支援する「学習・情報センター」の機能を持ちあわせていることから，各校で年間活用計画を作成し，調べ学習やグループ学習など授業での効果的な活用を進めています。今後も蔵書の充実や各校の実践例を共有するなど，幅広い学習活動に対応した「学習・情報センター」機能の充実に努めてまいります。</p>
<p>(学校での京都市図書館司書のブックトークについて)</p> <p>○中学校にもブックトークに来てほしい。</p>	1	<p>学校種を問わず，京都市図書館の司書が学校へ訪問して読み聞かせやブックトーク等を行う取組も実施しております。校種は問いません。</p> <p>興味のある学校の方はぜひ最寄りの京都市図書館に御相談ください。</p>
<p>学校及び幼稚園・保育所等における子どもの読書活動の推進に係る意見</p>	66	<p>全意見（417件）の約15%</p>

(4) 「4 学校図書館の整備・充実」

主な御意見	件数	本市の考え方
<p>(学校図書館の蔵書の充実について)</p> <p>○本の購入予算を増やしてほしい。特に、小学校は読書の習慣を身に付ける大切な時期なので、一人当たりの本の予算を増やしてほしい。</p> <p>また、中学校においても、調べ学習の本がまだまだ足りないと思う。図書室利用をもっと活性化させ、適格な必要図書を揃えていくことが急務と感じる。</p> <p>○学校図書館の蔵書を充実してほしい。</p>	16	<p>学校の図書整備費については、各学校において最低限整備すべき金額を学級数に応じて定めており、学校予算における図書費の確保を促しております。そのうえで、学校が独自の裁量により、自校の状況や教育目標に応じて、図書費に充てる予算を増額することを可能にしています。</p> <p>子どもたちの読書活動や調べ学習等の重要性を踏まえ、各学校において必要に応じた図書の購入ができるよう、今後とも予算の確保に努めてまいります。</p>
<p>(専任司書の配置)</p> <p>○全小・中学校の図書館に正規職員として専任司書を配置してほしい。</p>	9	<p>本市の厳しい財政状況のもと、正規の専任司書を全小・中学校の図書館に配置することは困難ですが、学校における読書活動の一層の充実に向けて、司書教諭や学校司書の配置拡大を図るとともに、地域ボランティアも活用し、体制づくりに努めてまいります。</p>
<p>(学校図書館の一般開放について)</p> <p>○小・中・高校の図書館を休みの日に地域の人たちが利用できたらいいと思う。</p> <p>○学校図書館の本を保護者にも貸し出してほしい。</p>	6	<p>学校図書館は授業等の教育活動を支える施設として整備しておりますので、保護者や一般の方の利用については困難な状況であることを御理解ください。</p>
<p>(学校図書館の環境整備)</p> <p>○学校図書館を気軽に立ち寄りたくなるような魅力的な場所にしてほしい。</p> <p>○学校の図書室に興味を持たせるポップを置いてはどうかと思う。</p>	4	<p>みやこ杣木を活用した閲覧机・椅子・書架の整備など、明るく親しみやすい環境づくりを進めています。学校司書を中心に、教職員や図書委員会の児童、学校図書館ボランティアによりポップ等を作成し掲示物の工夫を行うほか、休み時間に本の読聞かせを行うなど、読書や図書館利用の動機づけとなる取組を進めており、今後もこれらの取組を推進してまいります。</p>
<p>(選書等について)</p> <p>○児童・生徒による選書会の実施を増やしてほしい。</p>	4	<p>学校においては、子どもたちの様々な興味・関心に応えるとともに、各教科等において多様な教育活動を展開するた</p>

<p>○本屋で売れ筋の本や市立図書館で人気の本を学校図書館においてほしい。</p> <p>○図書室にマンガを置いてはどうかと思う。</p> <p>○小学校高学年も学校図書館を多く利用してもらえるように、子どもたちと一緒に図書の整理や修理をする時間を設けてたり、新しい図書の購入のリストと一緒に考える機会があっても良いと思う。</p>		<p>め、子どもたちの意見も反映させながら学校図書館資料を整備しております。</p>
<p>(学校図書館の開館時間について)</p> <p>○学校図書館の開館時間を延長してほしい。</p>	3	<p>学校司書の配置時間の充実を図るとともに、教職員と学校司書等が連携し、開館時間のさらなる拡大を図ってまいります。</p>
<p>(学校図書館において除籍する本の譲渡について)</p> <p>○学校図書館から本の寄付をしてほしい。</p> <p>○除籍する本を譲ってほしい。</p>	2	<p>学校図書館において除籍する本は、主にき損等により使用に耐えなくなったものです。使用できる間は、学校で大切に使用させていただきまますので、譲渡は予定しておりません。</p>
<p>(学校図書館活用実践事例集について)</p> <p>○学校図書館活用実践事例集は学校図書館ボランティアにも配布してほしい。</p>	1	<p>学校図書館活用実践事例集は学校図書館を活用した授業づくりを進めるための学習指導案を集めた冊子で、各校へ1冊配布し授業で活用しています。各校の学校図書館ボランティアの皆様には配布しておりませんが、学校で閲覧することは可能です。</p>
<p>(障害のある子どもたちについて)</p> <p>○障害のある子どもで、読書が好きな子どもはとても多いです。学校や図書館で、そうした子どもたちがもっと読書に親しみを持ち、自分の世界を広げられるように、ぜひとも障害のある子どもたちの読書環境の充実をお願いします。</p>	1	<p>学校図書館において、障害のある子どももない子どもも楽しめるよう、大型絵本やDVD付図書の蔵書を増やす等、工夫してきたところですが、今後とも、読み聞かせ等の取組とも合わせ、また総合支援学校での取組も参考にしながら、障害のある子どもが読書に親しみ、楽しむことができる学校図書館の整備に努めてまいります。</p>
<p>学校図書館の整備・充実に係る意見</p>	<p>46</p>	<p>全意見（417件）の約11%</p>

(5) 「5 京都市図書館の整備・充実」

主な御意見	件数	本市の考え方
<p>(京都市図書館の蔵書の充実について)</p> <p>○本屋での売れ筋の本をおいてほしい。</p> <p>○購入してほしい本の要望を聞いてほしい。</p> <p>○蔵書を充実してほしい。</p> <p style="text-align: right;">他</p>	26	<p>京都市図書館では、厳しい財政状況においても、政令指定都市で上位の資料購入費を維持し、利用傾向や利用者のニーズを踏まえ、各種出版情報をはじめ、書評、ベストセラー情報などを考慮しながら、文化、教養等に資する図書の網羅的な収集に努めております。</p> <p>お客様からの希望を反映させるためのリクエスト制度も設け、予算の許す限り新たな購入について館内で検討し、購入が叶わない場合でも京都府下の図書館や他都市の図書館、国立国会図書館等からの相互貸借などを活用するなど、可能な限りお客様の御希望にお応えするよう努めております。</p> <p>今後とも、市民の皆様の御意見を参考にさせていただきながら、利用いただきやすい図書館、子ども達が読書に親しむ図書館を目指して取り組んでまいりますので、御理解・御協力をお願いいたします。</p>
<p>(図書館の設置場所について)</p> <p>○中央図書館をはじめ不便な場所にある図書館が多いため、もっと便利なところにあればいいと思う。</p> <p>○上京区に図書館を設置してほしい。</p> <p>○もっと身近なところに図書館があれば、子どもたちの読書活動も進むのではないかと思う。</p> <p style="text-align: right;">他</p>	20	<p>市立図書館の整備につきましては、「1行政区1図書館」を目標とし、比較的大きな行政区には複数の図書館を設置し、各図書館が概ね半径2km圏内をカバーするという方針のもと、これまで20館の整備を行っている他、遠隔地等のために図書館で直接貸出を受けることが困難な地域には移動図書館を運行し、山間部を中心に市内41カ所を巡回するなど、図書館サービスの向上に努めております。</p> <p>現在、新たに図書館を設置したり、貸出箇所を設けたりする予定はございませんので、御理解ください。</p>
<p>(子どもが読書に親しむ環境づくりについて)</p> <p>○利用する子どもの年齢が近い子達が</p>	15	<p>京都市図書館では、第3次京都市子ども読書活動推進計画(平成26～30年度)の取組において、施設面では児童コ</p>

<p>利用しやすいように専用の時間帯を作ってほしい。</p> <p>○子どもと一緒にゆっくり絵本を読める空気を図書館で作ってほしい。</p> <p>○親子で読書を楽しみたいので、大人向けの本のコーナーにも子どもが本を読める場所がほしい。</p> <p style="text-align: right;">他</p>		<p>コーナーの環境整備に努めてきたところです。</p> <p>サービス面においては、創意工夫をもって子ども達が読書に親しむ環境づくりに一層努めて参ります。</p>
<p>(インターネットを活用した効果的な情報発信について)</p> <p>○各年代のおすすめの図書も携帯サイト、アプリ等で見られるなど若い世代が見やすいものを使ってほしい。</p> <p>○京都市図書館のHPに「こんなこともできます」といった、紹介動画を載せてほしい。またおすすめ本についてもHPで紹介してほしい。</p>	12	<p>皆様の意見を参考にさせていただきながら、インターネットを活用した効果的な広報や若い世代に向けた有益な情報発信の方法について引続き検討して参ります。</p>
<p>(図書館への電子書籍や電子機器の導入について)</p> <p>○ネットが当たり前の時代なので、電子書籍の貸出が必須だと思う。</p> <p>○ICT 機器を利用した読書環境の整備は有効だと思う。</p> <p>○電子書籍の整備やタブレット等を利用した取組をしてほしい。</p> <p>○専用タブレットで複数の人が同時に本を見られるようにしてほしい。</p>	10	<p>電子書籍については、継続してサービスを提供できるか見極めが必要であり、また提供できる資料もあまり多くないという状況があるため、利用者のニーズや費用対効果等を十分検証しながら、今後も電子書籍の導入やタブレットの活用の可能性について検討を進めて参ります。</p>
<p>(蔵書の検索について)</p> <p>○興味のある本を探すのに時間、手間がかかるので改善してほしい。</p> <p>○インターネット検索がやりにくく、探したい本のキーワードでも探せなくて困っているので改善してほしい。</p>	10	<p>京都市図書館では常時、図書館資料に関する御相談を受け付けています。本のことでお困りのことがありましたら、どのようなことでも結構ですのでお気軽に図書館の司書にお声掛けください。</p> <p>資料を探すお手伝いをさせていただくとともに、検索のコツなども御説明させていただきます。</p>
<p>(自習室の設置について)</p> <p>○各区に、一人ずつの空間が確保され</p>	6	<p>京都市図書館については非常に多くの市民の方に御利用いただいている中</p>

<p>た自習室をつくってほしい。</p>		<p>で、各館とも閲覧席の座席数が限られており、図書館資料の閲覧のための座席を確保する必要があることから、自習目的での利用はお断りせざるを得ない状況です。図書館内に新たに自習するスペースを設けることはできない状況ですので、御理解いただきますようお願いいたします。</p> <p>なお、京都市生涯学習総合センター（京都アスニー）の貸館に空き室がある場合、1室を自習室として開放（通年。午前9時から午後5時まで）しておりますので、ぜひ御利用ください。</p>
<p>（開館時間の延長について） ○土日の開館時間も17時までではなく、夜まで延ばしてほしい。</p>	6	<p>京都市図書館では、利便性の向上を図り、より幅広い年代層の方々に来館してもらうため、利用される方々の意見等も踏まえ、開館時間の延長を随時実施して参りました。</p> <p>夜間の開館時間の延長につきましては、2箇年の試行を経て、平成30年度から、利用者の多い中央館4館（中央・右京中央・伏見中央・醍醐中央）において、7月・8月の土曜日の開館時間を、「17時まで」から「19時まで」へ延長しております。</p> <p>今後も開館時間の延長の実施や利便性の向上については、財政事情や費用対効果を踏まえながら、必要性等について検討して参ります。</p>
<p>（図書館での障害者サービスについて） ○バリアフリーが進んで、障害のある方への配慮が行き届いてきたと実感しているが、まだどなたでも来館できて楽しめる環境にはない。今後とも障害者当事者の意見を聴取して、取組を進めてほしい。 ○障害のある子どもも共に楽しめるよ</p>	5	<p>京都市図書館では、DAISY（デイジー）図書、録音資料、大活字本等の貸出や、天眼鏡や拡大読書器を設置、視覚や発達に障害のある子ども達が触って楽しめる布絵本の充実を図るなど、障害のある方々へのサービスの向上に取り組んでおります。</p> <p>今後も皆様の御意見を参考にさせていただきながら、障害のある方へのサー</p>

うな図書館づくりをしてほしい。		ビスの充実に努めて参ります。
<p>(図書館資料の配置について)</p> <p>○京都市の図書館は充実期に入ってきていることから京都市民に利用しやすい、「日本十進分類法」によらない「あらたな京都市分類法」に基づく小さな図書館を作ってほしい。</p> <p>○整理して置きやすい観点で並べられているので、借りやすい、探しやすい並べ方にしてほしい。</p> <p>○配架を時々変えてほしい。</p> <p>○市民団体の会報誌や活動報告誌などをまとめているが、参考図書室の奥に置かれているため有効活用できていないように思う。一部を児童図書室に移してほしい。</p> <p style="text-align: right;">他</p>	4	<p>京都市図書館では利用者が必要な本をすぐに見つけ出せるよう、原則として日本十進分類法にしたがって主題別に並べておりますが、特設コーナーを設けたり、資料特別展示を実施したりするなど、来館者の読書への興味や関心を引く図書の配置も併せて進めております。</p> <p>資料の利用頻度・施設条件・皆様の御意見など総合的に検討しながら、今後もより利用しやすい図書館づくりに努めて参ります。</p>
<p>(返却ポストの設置について)</p> <p>○返却 BOX を作ってほしい。</p> <p>○地下鉄の駅の返却 BOX を増やしてほしい。</p> <p style="text-align: right;">等</p>	3	<p>京都市図書館では、図書館に立ち寄ることなく通勤途中等でも貸出資料を返却していただけるよう、地下鉄駅等への返却ポストの設置を進めており、現在、京都市営地下鉄の京都市役所前駅と北大路駅、阪急の烏丸駅、京北合同庁舎の他、図書館が駅に直結する醍醐駅と太秦天神川駅の地上1階部分に設けております。</p> <p>ポストの増設については、本を回収するトラックの増便や駐車場の確保などの課題がありますが、今後も利便性の向上に向け、引き続き検討して参ります。</p>
<p>(Wi-Fiの整備について)</p> <p>○Wi-fiを整備してほしい。</p>	2	<p>京都市図書館への無料Wi-Fiの設置につきましては、図書館独自で設置することが財政上困難であるため、本市の総合企画局情報化推進室の協力を得て、平成28年4月から、利用される方が比較的多い中央図書館、右京中央図書館、伏見中央図書館及び醍醐中央図書館の4館に、無料公衆無線LANスポット「京</p>

		<p>都どこでもインターネット（KYOTO Wi-Fi）」を設置し、御利用いただいているところです。今後も、利用が多く見込まれる施設などへの設置を検討してまいります。</p>
<p>（貸出期間の延長について） ○貸し出し期間をもう少し長くしてほしい。</p>	2	<p>資料の貸し出しの期間を長くした場合、借りた資料が長い間利用できるよくなるというメリットがある一方で、借りたい本について他の人が借りている期間が長くなるというデメリットにもつながってまいります。特に予約が集中する資料の場合、貸出の順番が今まで以上に長期に渡り回って来なくなるケースも生じて参ります。</p> <p>現在の貸出期間を変更する予定はございませんが、借りている資料に他の方の予約が無い場合は1回に限り貸出の延長も可能となっておりますので、御理解のほどよろしくお願ひいたします。</p>
<p>（図書館の専門性について） ○現在、市立図書館は魅力的なイベントが多く、このまま専門性の高い職員で運営してほしい。</p>	2	<p>今後も司書の専門性を大切にしながら引き続き利用者の方々々に喜んでいただける取組を実施して参ります。</p>
<p>（図書館の駐車場について） ○駐車場が完備されていないのが残念に思う。</p>	1	<p>敷地等の条件により駐車場のない館もございます。</p> <p>たくさん本を運ばれる場合などに御不便が生じるかと思ひますが、京都市図書館カードは各館共通で使用できますので、駐車場のある図書館に取寄せ借りていただくことも可能です。（駐車場の有無はホームページで御確認いただけます。）</p> <p>御理解のほどよろしくお願ひいたします。</p>
<p>（貸出履歴の閲覧希望について） ○借りた書物の履歴が見られるようにしてほしい。</p>	1	<p>皆様の個人情報を守る観点から返却と同時に貸出履歴は抹消される仕様となっております。</p> <p>御理解のほどよろしくお願ひいたし</p>

		ます。
(届かない位置の本の取出しについて) ○本に手が届かないので、脚立などを用意してほしい。	1	各図書館に踏み台も用意しておりますが、取るのが難しい場合は、遠慮なく職員にお声かけください。
京都市図書館の整備・充実に係る意見	126	全意見(417件)の約30%

(6) 「6 関係機関の連携・推進体制の整備・充実」

主な御意見	件数	本市の考え方
<p>(関係機関との連携について)</p> <p>○どの立場でどういう人たちが、どういった活動や取組を行わなければならないという話し合いの場を設けてほしい(読書活動推進〇〇委員会、〇〇会議など)。</p> <p>○子ども文庫や書店など、様々な関係団体との連携をしてほしい。</p>	2	<p>子どもたちの読書活動の推進に向けては、図書館や民間の子ども文庫や読み聞かせボランティア、書店など様々な読書関係団体等が工夫をこらした多彩な取組を展開しています。本市では「京都市図書館協議会」や「子どもの読書活動推進のための懇談会」等を開催し、様々な立場の方との子どもの読書に関わる意見交換や情報交流等を行っておりますが、社会全体での取組の充実に向けて、読書の推進に取り組む団体の活動を広くホームページ等で情報発信をするなどし、子どもの読書を支えるネットワークづくりのより一層の推進を図ってまいります。</p>
<p>関係機関の連携・推進体制の整備・充実に係る意見</p>	2	

(7) 「7 家庭読書を推進するための啓発・広報」

主な御意見	件数	本市の考え方
<p>(啓発・広報活動について)</p> <p>○積極的な活動に結び付くよう、メディアを通して周知してほしい。</p> <p>○スマートフォンを利用した読書に関する取組をしてほしい。</p>	19	<p>これまでから「自学自習のすすめ」(小1～中3の全家庭に配布)や図書館の発行する「京図ものがたり」等の情報誌、各種イベント等様々な機会を通じて、子どもの読書活動への関心を高めるための啓発活動を進めてまいりました。今後とも読書の重要性等を、より幅広い世代の方々に知ってもらえるよう、インターネットやスマートフォンなど様々な媒体を活用し、読書の大切さに関する啓発や情報提供等の充実に努めてまいります。</p>
<p>家庭読書を推進するための啓発・広報に係る意見</p>	19	

(8) 「8 優れた取組の奨励」

主な御意見	件数	本市の考え方
<p>(表彰のあり方について)</p> <p>○読書活動に対する表彰は励みになる一方で、現場への重圧になると思う。</p>	1	<p>優れた読書活動への実践を表彰することで、受賞された方々の活動がさらに活性化するとともに、その活動内容も参考にしながら、読書活動の推進に向けた自発的な取組につながっていくよう、情報発信等を進めてまいります。</p>
<p>優れた取組の奨励に係る意見</p>	1	

(9) 「9 その他」

主な御意見	件数	本市の考え方
<p>(計画全般への御意見)</p> <p>○計画策定に賛成。ぜひ充実した有効な取組のための計画をお願いしたい。</p> <p>○この計画は前の計画に比べて、アンケート結果等もよくまとめられていると思う。</p> <p>○この冊子を読まない知らないことばかりだと思う。冊子を手にとっても文字量の多さに読む気がしない、という声が多くて残念に思う。</p> <p>○予算の確保も大切と思う。</p> <p style="text-align: right;">他</p>	9	<p>いただいた御意見を今後の読書計画策定の取組に活かしてまいります。また子どもたちの読書活動推進に向けた取組のさらなる充実のため、必要な予算の確保に努めてまいります。</p>
<p>(情勢の変化に応じた読書のあり方について)</p> <p>○紙媒体が減っていく中、家庭読書を推進していくのは難しいと思う。</p> <p>○デジタル図書から本に興味をもつことも悪くないと思う。</p> <p>○マンガの魅力も広めてほしい。</p> <p style="text-align: right;">他</p>	7	<p>情報化社会の進展や読書のツールの多様化、日本のマンガが国際的にも高い評価を受け、幅広い世代に浸透するなど、読書をめぐる情勢は大きく変化しつつあります。そうした変化も見極めつつ、子どもの読書推進を図ってまいります。</p>
<p>その他の意見</p>	16	